

令和4年2月17日公安委員会会議概要

日 時	令和4年2月17日（木）午前9時40分から午後1時40分までの間
出席委員	外山委員長、小長谷委員、長澤委員、稲田委員

第1 審議・報告案件

県警から、次のとおり報告を受けた。

1 第33回静岡県警察音楽隊定期演奏会の開催方法について【総務部】

(1) 観客の入場可否について

新型コロナウイルスの感染状況を勘案し、「無観客」開催とする。

<概要>

日 時	令和4年2月26日（土）午後2時30分開演（概ね1時間30分）
出 演	静岡県警察音楽隊員21人（演奏隊員17人・カラーガード4人）
内 容	○ カラーガードの演技を交えた演奏 ○ ステージドリル演奏 ○ 特殊詐欺被害防止等の警察広報

(2) ライブ配信について

動画サイトYouTubeを活用したライブ配信により、幅広い世代に対する警察広報の拡充・浸透を図る。

2 令和3年中の遺失物・拾得物取扱い状況について【総務部】

(1) 遺失届及び拾得物の受理状況

○ 遺失届

※（ ）内は前年比

区分	件数	物品	通貨（千円以下四捨五入）
遺失届	86,605件(-0.8%)	255,357点(0.1%)	6億8,581万円(-10.4%)

○ 拾得物

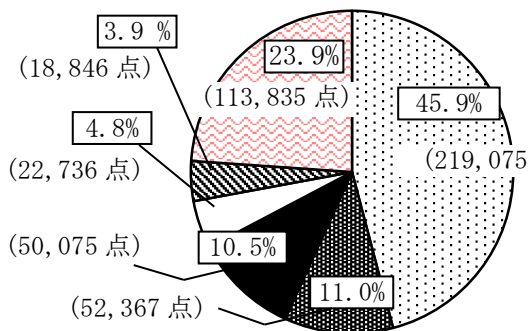
※（ ）内は前年比

区分	件数	物品	通貨（千円以下四捨五入）
警察署提出分	277,666件(8.1%)	454,198点(2.7%)	4億4,270万円(8.3%)
特例施設占有者 保管分	81,815件(14.0%)	22,736点(2.0%)	722万円(14.2%)
合計	359,481件(9.4%)	476,934点(2.7%)	4億4,992万円(8.4%)

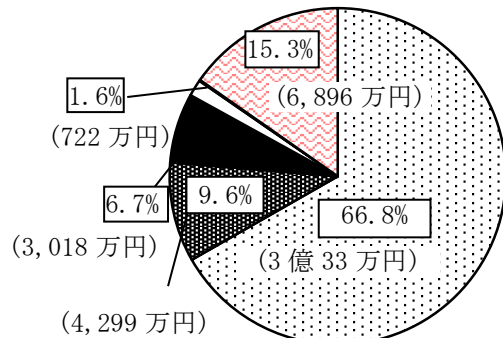
◎ 特例施設占有者の自社保管件数は全届出件数の22.8%（前年比1.0ポイント増）

(2) 拾得物品及び通貨の処理状況

【物品 476,934 点の内訳】



【通貨 4 億 4,992 万円の内訳】



遺失者返還
 拾得者交付
 県帰属
 特例施設占有者処理
 その他
 調査中

(3) 動物、高額現金（100万円以上）の取扱い

○ 動物の取扱い

区分	件数	内 訳
拾得物	531件	犬232件、鳥147件、猫66件、亀42件、その他44件
一時預かり	671件	犬653件、猫18件

○ 高額現金（100万円以上）の取扱い

区分	件数・総額	最高額とそのてん末等
遺失届	24件 5,494万円	(最高額) 1,000万円余 (てん末) 返還
拾得物	15件 3,895万円	(最高額) 1,400万円余 (てん末) 返還

(4) その他

- 令和3年7月3日に発生した熱海市伊豆山における土石流災害で警察に拾得物として届けられたものについては、件数が230件余、現金総額は2,500万円余、物品点数は2,000点余となっている。
- 今回の災害における流出物の取扱いについては、環境省策定の災害廃棄物対策指針に基づき、災害廃棄物を処理する熱海市が保管し、現金や貴重品などについては警察に拾得物として届けられ、持ち主に返還されている。
- これ以外の写真やハガキなど持ち主にとって価値があると認められる物については、思い出の品として熱海市が管理し、持ち主への返還作業を行っている。

3 令和3年中の人身安全関連事案の情勢について【生活安全部】

(1) 人身安全関連事案の情勢

○ ストーカー

令和3年中の認知件数は360件で前年比40件減少したが引き続き高水準にあり、行為の態様も巧妙化し、予断を許さない状況にある。

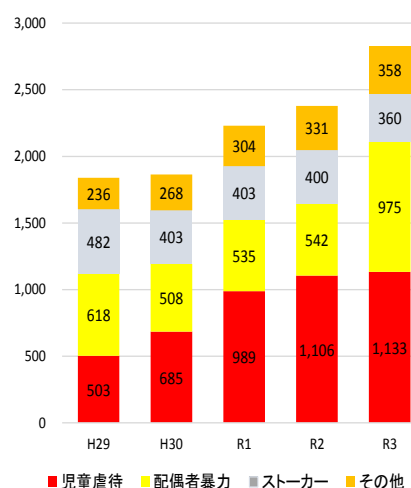
○ 配偶者暴力

令和3年中の認知件数は975件で前年比433件増加し、引き続き高い水準で推移している。

○ 児童虐待

認知件数が一貫して増加傾向にあり、令和3年中は1,133件で平成29年の約2.3倍となった。

人身安全関連事案認知件数の推移



(2) 児童虐待の対応状況について

○ 児童相談所への通告（人員）

	H29	H30	R1	R2	R3
通 告	652	942	1,364	1,573	1,642
身体的虐待	112	207	253	278	260
養育の怠慢・拒否	84	80	131	107	90
心理的虐待	450	648	967	1,182	1,286
性的虐待	6	7	13	6	6

※単位は（人）

○ 児童相談所との情報共有（件数）

		R1	R2	R3
児童相談所 → 警察		74	88	79
	緊急連絡	60	55	53
	相談連絡	11	25	25
	援助要請	3	8	1
警察 → 児童相談所		456	460	348
	情報照会			

※単位は（件）

- ・ 平成31年3月に児童相談所と連携協定を締結し、危険度レベルに応じた連絡基準を設けて情報共有を図っている。

(3) 人身安全関連事案の今後の取組

- 被害者等の安全確保を最優先とした保護対策の徹底
- 加害者の検挙等による加害行為の抑止
- 関係機関との連携強化

委員が「夫婦喧嘩の段階から積極的に警察が介入し、面前DVを心理的虐待として捉えて通告することが重要であると考えます。取り扱う件数が増えれば負担も増えると思うが、よろしくお願ひしたい。」と意見した。

4 進学・進級時における少年の非行等防止に向けた啓発活動について【生活安全部】

(1) 趣旨

進学・進級の時期は、生活環境の変化から、不良行為や非行に至ることが懸念される。また、少年の中にはこの時期にスマートフォン等の利用を新たに始める者も少なくないと思われるところ、近年のスマートフォンやSNSをはじめとするサービスの急速な普及により、インターネット上で知り合った者に自撮り画像を送信させられるなどの福祉犯被害が発生しているほか、少年自ら児童ポルノの公然陳列等の非行に及ぶなど深刻な問題も発生している。

こうした状況を踏まえ、3月の広報重点に「進学・進級時における少年の非行・犯罪被害防止と有害環境の浄化」を掲げ、インターネットの適切な利用に向けた啓発活動を推進する。

（参考）内閣府等（警察庁参加）においても「令和4年春のあんしんネット・新学期一斉行動（2月から5月）」に取り組むこととしており、関係機関への協力要請がなされている。

(2) 主な啓発活動

- 非行・被害防止リーフレットの作成及び配布
 - ・ SNSの利用に起因した性被害防止リーフレット（右図参照）
 - ・ 大麻乱用防止冊子
- 県警HP等のインターネットを活用した広報
 - ・ 県警Twitterによる情報発信
- 関係機関との連携
 - ・ 県及び政令市教育委員会と連携の下、小学校入学説明会等における共同メッセージの発信
 - ・ 学校、教育委員会と連携の下、新中学1年生の保護者を対象としたSNSに起因した非行及び性被害防止に関する保護者啓発講座「すくすくスクラム」の開催



- ・ 携帯電話販売店と連携したフィルタリング利用の普及に向けた活動
- その他の活動
 - ・ スクールサポーターによる学校訪問活動を通じた情報提供
 - ・ 教育情報誌を活用した学校関係者に対する情報発信

委員が「大人になってからスマホに触れるようになった我々世代と現在の子供世代とでは、スマホに対する危機意識に差があると思われる。使い方によっては危険なものになり得ることを認識させることが重要と考える。」と意見した。

5 組織的犯罪処罰法違反被疑者の逮捕について【刑事部】

富士市内の歯科医院医師から、長期にわたりみかじめ料を徴収したとして

六代目山口組藤友会若頭（五代目大石会会長） 富士市居住 無職 52歳 男性
 六代目山口組藤友会幹部（五代目大石会若頭） 富士宮市居住 無職 49歳 男性

を、令和4年2月15日（火）組織的犯罪処罰法違反により通常逮捕した。

第2 個別決裁・報告等

- 1 禁止命令等及び書面警告の発令状況（1月分）について（人身安全対策課）
- 2 大規模災害の発生直後における迅速な情報収集のための取組について（災害対策課）
- 3 令和3年度「津波対策推進旬間」における取組について（災害対策課）
- 4 熱海市伊豆山土石流災害に伴う一斉捜索の実施結果について（災害対策課）
- 5 静岡県金属くず営業条例施行規則の一部改正について（生活保安課）
- 6 公安条例の取扱状況について（警備課）
- 7 一定の病気等による運転免許に係る行政処分に関する規程の一部改正について（運転免許課）
- 8 公安委員会聴聞（病気事由）該当者について（運転免許課）
- 9 初心取消しに関する意見の聴取について（運転免許課）
- 10 「しずおか・安全横断3つの柱」周知・定着に向けた取組について（路面表示シールの設置による実践の促進）（交通企画課）
- 11 「ゾーン30プラス」の供用開始について（交通規制課）
- 12 犯罪被害者等給付金の支給裁定について（警察相談課）
- 13 監察案件について（監察課）
- 14 審査請求に伴う審理経過報告及び裁決について（総務課）

第3 運転免許の行政処分

運転免許の取消しにかかる意見の聴取・聴聞の実施結果と処分に関する説明を受け、18件の行政処分を決定した。